

2008年度(平成21年3月期) 第3四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社

2009年2月3日

経営成績

金額単位：億円

 2008年度
 通期業績予想に対する進捗

	07年度 3Q累計	08年度 3Q累計	前年同期比		08年度 通期予想	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	1,992	2,019	27	1.4 %	2,660	75.9 %
営業利益	332	275	△ 57	△17.0 %	305	90.3 %
経常利益	333	284	△ 48	△14.5 %	305	93.3 %
四半期純利益	207	171	△ 36	△17.3 %	185	92.4 %

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入しております。

売上高の増減要因

金額単位：億円

	07年度3Q 累計	08年度3Q 累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,992	2,019	27	1.4 %

(増収要因)

- ・新製品(ロナセン・アバプロ)の寄与
- ・新規生産受託の開始

(減収要因)

- ・薬価改定の影響
- ・アムロジンの減収

戦略4製品および新製品の売上高

金額単位：億円

	07年度3Q 累計	08年度3Q 累計	前年同期比	
			増減額	増減率
アムロジン	501	461	△ 40	△8.0 %
ガスモチン	153	155	3	1.7 %
プロレナール	113	114	1	1.1 %
メロペン	115	115	0	0.1 %
戦略4製品計	882	846	△ 36	△4.1 %
ロナセン	—	24	24	—
アバプロ	—	14	14	—
新製品 計	—	38	38	—

(注) 売上高は、国内売上高でリベート控除前で記載しております。

売上原価・販売費及び一般管理費の内訳

金額単位：億円

	07年度3Q累計		08年度3Q累計		前年同期比 増減額
		対売上高 比率		対売上高 比率	
売上高	1,992	—	2,019	—	27
売上原価	740	37.2 %	789	39.1 %	48
売上総利益	1,252	62.8 %	1,230	60.9 %	△ 21
販売費及び一般管理費	920	46.1 %	955	47.3 %	35
販売費・一般管理費	582	29.2 %	572	28.3 %	△ 10
研究開発費	338	16.9 %	383	19.0 %	46
営業利益	332	16.7 %	275	13.6 %	△ 57

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

(売上原価)

- ・薬価の改定
- ・棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

(販売費及び一般管理費)

- ・ルラシドンの海外臨床開発の進展に伴う研究開発費の増加

営業外損益および特別損益の内訳

金額単位：億円

	07年度3Q 累計	08年度3Q 累計	前年同期比 増減額
営業利益	332	275	△ 57
営業外損益	1	9	8
金融収支(受取配当金を含む)	12	14	2
寄付金	△ 10	△ 11	△ 0
その他	△ 1	6	7
経常利益	333	284	△ 48
特別損益	—	—	—
法人税等・少数株主利益	△ 126	△ 114	12
四半期純利益	207	171	△ 36

2008年度通期業績予想

金額単位：億円


	07年度	08年度	
	通期実績	業績予想 (10/31発表)	増減額
売上高	2,640	2,660	20
営業利益	398	305	△ 93
経常利益	377	305	△ 72
当期純利益	256	185	△ 71


研究開発費	473	550	77
-------	-----	-----	----


* 2008年度業績予想は昨年10月に公表した数値を変更しておりません。

臨床開発の現況

申請中	第Ⅲ相試験	第Ⅱ相試験	第Ⅰ相試験
肝細胞癌治療剤 SM-11355 (ミラプラチン)	糖尿病治療剤 SMP-508 (レパグリニド)	糖尿病合併症治療剤 AS-3201 (ラニレストット)	過活動膀胱治療剤 SMP-986
糖尿病治療剤 SMP-862 (トホルミン)	統合失調症治療剤 SM-13496 (ルラシドン)	認知症治療剤 AC-3933	糖尿病治療剤 DSP-3235
バリウム注腸X線造影 検査前処置 ガスモチン			アレルギー性疾患治療剤 (P1準備中) DSP-3025
適応菌種追加 アムビゾーム	統合失調症治療剤 (米国・欧州等) SM-13496 (ルラシドン)	過活動膀胱治療剤 (米国・欧州) SMP-986	気管支喘息治療剤 (米国) SMP-028
発熱性好中球減少症 メロペン	小細胞肺癌治療剤 (中国) アムルビシン	認知症治療剤 (米国・欧州) AC-3933	糖尿病治療剤 (欧州) DSP-7238
			糖尿病治療剤 (米国) DSP-8658

 国内開発(新有効成分)

 国内開発(適応症追加)

 海外自社開発

昨年10月からの変更を白抜き文字で表示

臨床開発 進捗状況(前回からの変更)

■ トレリーフ(ゾニサミド): 表より削除

- 2009年1月に製造販売承認を取得したため

■ SMP-114: 表より削除

- 開発中止のため

■ 塩酸アムルビシン: 中国での開発(第Ⅲ相)を新規掲載

- 適応症: 小細胞肺癌

ルラシドン 進捗状況

グローバル試験(実施中)

■ 統合失調症

- プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL #1)
 - 2007年10月25日、スクリーニング開始
 - 患者のリクルート予定通り完了
- プラセボ及び実薬対照第Ⅲ相試験 (PEARL #2)
 - 2008年1月31日、スクリーニング開始、投与中
- 長期安全性投与試験 (PEARL Safety)
 - 2008年3月17日、スクリーニング開始、投与中
- プラセボ及び実薬対照第Ⅲ相試験 (PEARL #3)
 - 2008年10月15日、FDAへIND Amendment提出
 - 2008年10月27日、スクリーニング開始、投与中

**Program to
Evaluate the
Antipsychotic
Response to
Lurasidone**

ルラシドン 進捗状況

グローバル試験(実施中)

■ 双極性障害

- 2008年12月17日、INDをFDAに提出
- 第Ⅲ相試験スクリーニングを2008年度中に開始予定

国内(Pan-Asia)開発

- 日本、台湾、韓国で統合失調症患者に対する第Ⅲ相試験の治験届を提出
- 日本、台湾、韓国で投与実施中
- 試験計画概要
 - 対照薬: プラセボ(参照薬: リスペリドン)
 - 目標症例数: 440例
 - 主要評価項目: PANSS

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。